

子宮頸がん検診 受診率に格差

海田町トップ49% 府中市15% 10年度

同機構は、県からがん検診の分析業務を受託。全国の市町村が11年度中に厚生労働省へ提出した「地域保健・健康増進事業報告」(10年度分)を基に独自にまとめた。

集計では、09年度より約1400人多い9万4006人が受診。全国平均の23・9%を4・8ポイント上回り、県平均として過去最高だった05年度の20・6%を8・1ポイント更新した。

出前講座やPRキャラクターづくりで、受診を促していく。

クリック

子宮頸がん 性交で感染するヒトパピローマウイルス(HPV)により、子宮入り口近くに発生。性交経験のある女性の半数余りがHPVに感染し、その約1割ががんを発症するとされる。ワクチンによる感染の予防効果は60〜70%。早期発見で治療するため、国などは2年に1度の検診を奨励している。

県内で2010年度に実施された子宮頸がん検診の受診率は28・7%で、5年ぶりに全国平均を上回った。「子宮の日」(4月9日)を前に、県地域保健医療推進機構が最新値をまとめた。半面、高齢者の受診は低調。市町間で最大約3倍の差が出た。

県、市町事業に助成へ

40代の受診率はいずれも35%を超えたが、50代以上は県平均を下回った。同機構は「閉経後は発症しないと誤解している人が多いのでは」とみる。

市町別では、海田町

子宮頸がん検診の市町別受診率(%)

海田町	49.4
安芸太田町	40.3
坂町	39.9
北広島町	39.0
広島市	34.0
三原市	34.0
熊野町	32.3
府中	30.6
廿日市	29.7
呉市	29.4
安芸高田市	29.1
三次市	28.2
神石高原町	27.4
東広島市	26.1
福山市	23.4
庄原市	22.5
竹原市	20.7
江田島市	19.2
尾道市	18.8
大竹市	18.7
大崎上島町	17.9
世羅町	17.6
府中平均	15.7
全国平均	23.9

ちゅーピー百貨店春満開

中国新聞ちゅーピーくらぶ会員を優待するイベント「春のちゅーピー百貨店」が7日、広島市南区の福屋広島駅前店で始まった。会員限定の割引セールやマスクottキャラクタ

「ちゅーピー」と触れ合う催しに、家族連れなどが詰め掛けた。8日まで。

会員カードを示すと衣料品やバッグ、靴な



6階の特設ステージでは、ちゅーピーとタ